

問1 南アメリカのブラジルにおいて、南東部の都市を中心に発展している自動車工業の特色を説明した文として、正しいものはどれですか。 (2025年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 国内で産出される石炭と原油を主な原材料とし、アジア系企業の工場で生産された自動車を広くヨーロッパへ輸出している。 | 2. 国内で豊富に産出される鉄鉱石を原材料として利用し、生産された自動車をメルコスールなどの同じ大陸内の国々へ輸出している。 | 3. 北アメリカから輸入した鉄鉱石を原材料として利用し、主に日系企業の工場で生産された自動車を北アメリカへ輸出している。 | 4. ヨーロッパから輸入したアルミニウムの原料を使い、内陸部の都市で生産された自動車を世界各地の港へ送っている。 |
|---|--|--|--|

問2 近年のブラジルの貿易と産業の様子について説明した文として、統計的事実に基づいた適切なものはどれですか。なお、2015年の輸出総額は約1911億ドルであり、輸入額を上回っています。 (2019年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 輸出品目がコーヒーから鉄鉱石や機械類、大豆などへ多角化し、貿易黒字となっている。 | 2. 工業化が停滞したことで輸入額が輸出額を上回り、慢性的な貿易赤字の状態にある。 | 3. 依然としてコーヒーが輸出の3割以上を占めているため、国際価格の下落による貿易赤字が続いている。 | 4. 農産物の輸出を制限し、重化学工業製品のみに輸出品目を絞ることで貿易黒字を達成している。 |
|---|---|--|--|

問3 オーストラリア大陸の大部分は、非常に古く安定した地殻である安定陸塊で占められていますが、大陸の東側には標高1000メートルから2000メートル程度のなだらかな山脈が南北に連なっています。この大陸東側に位置する山脈の名称と、その造山帯の区分の組み合わせとして正しいものを選択してください。 (2024年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------|------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. アパラチア山脈（古期造山帯） | 2. アンデス山脈（新期造山帯） | 3. グレートディバイディング山脈（新期造山帯） | 4. グレートディバイディング山脈（古期造山帯） |
|-------------------|------------------|--------------------------|--------------------------|

問4 日本の東京を通る経線と、世界の大陸の位置関係について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 東京から真南に進むと、赤道を通過する前にユーラシア大陸の最南端に到達する。 | 2. 東京を通る経線は、大西洋を南北に貫き、アフリカ大陸の西側に位置している。 | 3. 東京とオーストラリア大陸は経度が大きく異なるため、地図上では真南に位置しない。 | 4. 東京を通る経線を南にたどると、南半球にあるオーストラリア大陸を通過する。 |
|--|---|--|---|

問5 ブラジルの発電エネルギー源別の統計において、発電量全体の約7割から8割という極めて高い割合を占めている発電形式として正しいものはどれですか。 (2019年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 水力発電 | 2. 火力発電 | 3. 地熱発電 | 4. 原子力発電 |
|---------|---------|---------|----------|

問6 ブラジルの歴史と人々の生活について説明した次の文章のうち、正しい記述はどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. ブラジルは独立当初から多民族国家を目指し、アフリカやアジアから自発的な移民のみを受け入れて発展した。 | 2. 広大なアマゾン川流域の開発を目的として、19世紀末にアメリカ合衆国から大規模な奴隷労働力が導入された。 | 3. 16世紀にスペインの植民地となったことで、先住民の文化とキリスト教が融合し、ヨーロッパ系の人々が人口の大部分を占めるようになった。 | 4. かつてポルトガルが先住民を支配するとともに、農園の労働力としてアフリカから多くの人々を奴隷として連れてきた。 |
|---|--|--|---|

問7 ある都市の雨温図の統計資料において、月平均気温を示す曲線が7月に向けて下がる「谷型」の形状を示しており、年平均気温が16.3度、年降水量が1528.8ミリであるとして、この統計に該当する都市として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2019年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------|-----------|-----------------|---------------|
| 1. ニュージーランドのオークランド | 2. 日本の東京都 | 3. 東南アジアのシンガポール | 4. 南米のアマゾン川流域 |
|--------------------|-----------|-----------------|---------------|

問8 オーストラリアの輸出統計において、1960年時点では輸出額の第1位を占めていたものの、2010年代後半には鉄鉱石や石炭といった鉱産資源にその座を譲った、かつての主要な農産物は何ですか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|---------|-------|-------|
| 1. 羊毛 | 2. 天然ゴム | 3. 綿花 | 4. 石油 |
|-------|---------|-------|-------|

問9 日本の市場におけるある農産物の流通量を示した統計において、国内産の流通が少なくなる6月から10月ごろにかけて、南緯30度付近に位置するチリからの輸入量が増加する傾向が見られます。このようにチリから農産物を輸入する理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. チリは南半球に位置しており日本と季節が逆になるため、国内産が不足する時期に補完して安定供給を行うため | 2. チリは日本と経度がほぼ同じであり、輸送にかかる時間が極めて短いため、鮮度を保ったまま輸入できるため | 3. チリは赤道直下の熱帯に位置しているため、一年を通じて日本の気候に左右されず同じ品質の農産物を供給できるため | 4. チリは北半球のアメリカと同じ気候帯に属しているため、アメリカ産の収穫時期と合わせて大量に輸入を行うため |
|---|--|--|--|

問10 オーストラリアが1970年代までに「白豪主義」を廃止し、新たな社会方針へと転換させた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 地理的に近いアジア諸国との経済的な結びつきを強化し、労働力を確保するため | 2. ヨーロッパからの移民のみを優遇し、特定の民族による国家運営を維持するため | 3. イギリスとの政治的なつながりを完全に断ち切り、鎖国体制を築くため | 4. 南アフリカ共和国で実施されていた人種隔離政策を自国でも導入するため |
|---|---|-------------------------------------|--------------------------------------|

問11 かつてイギリスの植民地であったオーストラリアでは、長らく白人以外の移民を制限する政策がとられていました。しかし、1970年代以降、アジアなどからの移民が増加したことを背景に、異なる民族や文化背景を持つ人々がそれぞれの伝統や価値観を尊重し合いながら共に生きる社会を目指すようになりました。このような社会のあり方を何と呼びますか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|------------|----------|----------|
| 1. 白豪主義 | 2. アパルトヘイト | 3. 多文化社会 | 4. 循環型社会 |
|---------|------------|----------|----------|

問12 日本とオーストラリアの貿易関係について、オーストラリアから輸入される鉄鉱石の性質と背景を説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 化学工業におけるプラスチックの原料となり、パイプラインを通じて積み出し港まで運ばれる。 | 2. 火力発電の主な燃料として利用され、近年は環境負荷の低減を目的として輸入量が増加している。 | 3. アルミニウム製品の原料であり、精錬に多量の電力を必要とするため、現地で加工してから輸入される。 | 4. 鋼鉄を生産するための主原料として利用され、広大な露天掘りの鉱山から効率的に産出される。 |
|--|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 国内で豊富に産出される鉄鉱石を原材料として利用し、生産された自動車をメルコスールなどの同じ大陸内の国々へ輸出している。	ブラジルは世界有数の鉄鉱石の産地であり、その豊富な資源を背景に、鉄鋼業や自動車工業などの重化学工業が南東部の都市を中心に発達しました。進出している企業はヨーロッパ系が中心で、製造された自動車は距離的に近く経済的な結びつきが強い「同じ大陸内の国々（メルコスールなど）」へ多く輸出されています。
問2	答え 1 輸出品目がコーヒーから鉄鉱石や機械類、大豆などへ多角化し、貿易黒字となっている。	ブラジルは1970年代から工業化を推し進め、コーヒーに依存しない経済体制を築いてきました。2015年の統計では、鉄鉱石などの資源や、大豆・肉類といった農産品、さらに機械類なども主要な輸出品目となっており、輸出額が輸入額を上回る貿易黒字を記録しています。
問3	答え 4 グレートディバイディング山脈（古期造山帯）	オーストラリア大陸は、地球上で最も古い地殻の一つである「安定陸塊」が大部分を占めており、全体として平坦な地形が広がっています。しかし、大陸の東側には古期造山帯に分類されるグレートディバイディング山脈が走っています。古期造山帯は、形成された時代が古く、長期間の侵食を受けているため、ヒマラヤ山脈のような新期造山帯に比べて標高が低く、なだらかな山容となっているのが特徴です。
問4	答え 4 東京を通る経線を南にたどると、南半球にあるオーストラリア大陸を通過する。	世界地図において、日本の東京（東経約140度）から垂直に南下する線は、オーストラリア大陸の西側を通ります。日本とオーストラリアは経度が近いため、時差が少ないという特徴もこの位置関係に由来しています。他の選択肢にあるアフリカ大陸や北アメリカ大陸は、日本とは経度が大きく離れた場所に位置しています。
問5	答え 1 水力発電	ブラジルは、アマゾン川などの広大な河川や豊かな降水量といった自然条件を背景に、水資源を電力供給の柱として活用しています。世界的に見ても、電力供給における再生可能エネルギーの比率が非常に高い国として知られており、二酸化炭素の排出を抑えたエネルギー政策が特徴です。
問6	答え 4 かつてポルトガルが先住民を支配するとともに、農園の労働力としてアフリカから多くの人々を奴隷として連れてきた。	ブラジルの多文化社会の根底には、ポルトガルによる植民地支配の歴史があります。16世紀以降、プランテーション（大規模農園）での労働力を確保するために、多くのアフリカの人々が奴隷として連れてこられました。資料などでもヨーロッパ系とアフリカ系の混血の人々が多いことが示される通り、こうした歴史的な人々の移動が、現在のブラジルの多様な人口構成につながっています。
問7	答え 1 ニュージーランドのオークランド	気温の曲線が7月に下がる「谷型」を示すのは、7月に冬を迎える南半球の都市に限られます。選択肢の中で南半球に位置し、かつ年平均気温が16度前後の温帯の気候を示すのはオークランドです。東京都は北半球のため7月の気温が高くなる「山型」になり、シンガポールやアマゾン川流域といった熱帯地域は、一年を通して気温の変化がほとんどない平らな曲線を描きます。
問8	答え 1 羊毛	かつてのオーストラリアは、イギリスなどヨーロッパ向けの羊毛輸出を中心とする農牧業が産業の柱でした。しかし、戦後は日本や中国といったアジア諸国での工業化が進んだことにより、工業原料となる鉄鉱石や石炭などの需要が高まり、輸出の中心が農産物から鉱産資源へと大きく変化しました。
問9	答え 1 チリは南半球に位置しており日本と季節が逆になるため、国内産が不足する時期に補完して安定供給を行うため	日本とチリは赤道をはさんで北半球と南半球にそれぞれ位置しているため、季節が逆します。この地理的条件を利用し、日本国内での収穫が少ない時期（端境期）に、収穫期を迎えているチリから農産物を輸入することで、年間を通じて市場への安定した供給を維持する仕組みがとられています。
問10	答え 1 地理的に近いアジア諸国との経済的な結びつきを強化し、労働力を確保するため	オーストラリアはかつてイギリス中心の社会を維持してきましたが、戦後の経済成長に伴う労働力不足や、アジア太平洋地域の一員としての自覚が高まったことで方針を転換しました。輸出相手国がイギリスから日本や中国などのアジア諸国へとシフトしたことも大きな要因です。多文化主義は、多様な背景を持つ人々を受け入れることで社会を活性化させ、近隣諸国との経済関係を円滑にする役割を担っています。
問11	答え 3 多文化社会	オーストラリアでは1970年代まで、ヨーロッパ系以外の移民を制限する「白豪主義」という政策がとられていました。しかし、労働力の確保やアジア諸国との経済的な結びつきを強める必要性から、この政策を廃止しました。現在は、多様な文化背景を持つ人々が共生する「多文化社会」の形成を国家の指針として推進しています。
問12	答え 4 鋼鉄を生産するための主原料として利用され、広大な露天掘りの鉱山から効率的に産出される。	鉄鉱石は鉄鋼業における最も重要な原料であり、石炭（原料炭）とともに高炉に投入されて鉄が生み出されます。オーストラリアは古期造山帯などの安定陸塊が広がっており、地表付近に鉄鉱石が豊富に存在するため、大規模な露天掘りが可能です。日本にとっては、地理的に比較的近く、供給が安定しているオーストラリアは最大の輸入相手国となっています。